

障害がある人もない人も一緒に登山を楽しむしろうまの会 会報 2017 年 7 月

しろうまニュース

vol. **23**
山行に行ったら発行

2017 夏山

8月26(土)~28日(月)



車山・美ヶ原

(標高 2034m)

年々、会全体のパワー不足は否めず夏山で 3000 m クラスの山に行くのが難しくなってきた。

ただ「夏山」の魅力は高山を感じるところにある。今年は色々と個人的な忙しさもあり、夏山の計画を始めたのは 7 月に入ってからである。尾瀬という案もあったが、至仏山または燧ヶ岳の山へ登るのは難しい。



ヒュッテ・ジェベル



行きのバスで



八島湿原入り口



八島湿原の木道の幅が絶妙

そこで頭に浮かんだのが、北八方面。地図を見ると八子峰というあまり有名ではないが山があり近くにはヒュッテもある。既に1ヶ月近くとなり土曜日に泊まれる宿も少ない。早速問合せをしてみるが、管理人は常駐してなく、定員は15名で食事を出せないで自炊なら可能とのこと。その日は空いているが正式に決まったら再度連絡をしてくれとのこと。自炊の準備や交通手段等を検討するなか、車山周辺をリサーチするといくつかヒュッテがある。一日目の行程をシュミレーションするとちょうど下山場所に「ヒュッテ・ジェベル」という宿があった。事前の経緯と当日のやり取り等に関して

は、参加の方々も知っているのでニュースでは割愛します。

初日の出発からバタバタしたもの、何とか全員予定の列車に乗って茅野駅に到着。8月に入っても東京は梅雨空のような日が続いたが、現地はまずまずの天気。当初の計画では1日目にリフトを使って車山に登る予定であったが、1本目のリフトが故障で当日も回復の見込みがないとの連絡を受けていたので、急遽2日目の予定の八島湿原と鷲ヶ峰登山に変更。バスで八島湿原の停留所で降りる。昼食後、鷲ヶ峰に向かう。Nさんと私は登山道の途中で待機。途中からでも、北アの穂高

や槍ヶ岳も見える。頂上まで行った人達の話だと、八ヶ岳はもちろん諏訪湖の間欠泉らしきものも見えたとか・・・。登山隊が下りてくるまで時間がかかりそうなので先にJINRIKIを使って八島湿原を散策しながら宿に向かう。八島湿原の散策道は木道になっていて、木道2本の間は車椅子の幅より少し狭いくらいなので、慎重にJINRIKIを操作して進む。ところどころ木道が朽ちていて難儀したが、まだ花もたくさん残っていて、群生とはいかないがその分、いろいろな種類の花がみられる。

周遊コースをぐるっと回って沢渡にある宿に向かう。丁度、車で到着した現地集

合のWさんと合流。その後、後続隊も宿に到着するも途中下山してきた組と連絡がうまく伝わらなかったこともあり、1組は湿原のバス停にいるとのこと。宿まで徒歩で行くのも大変なのでWさんの車を借りて迎えに行き、全員宿に集合。夕食前にお風呂に入る。天気が良く汗もかいたので、お風呂があるのは大変ありがたい。お酒の持込が禁止とされていたのでビールを頼んだがこれが常温。それではとワインを頼むも大びんは1本のみ。みんな黙々とご飯を食べるのみで、まるでお通夜のような(笑)。食後は、明日の予定を確認して早々と就寝。





2日目。車山で記念撮影して・・・



お参りして・・・



3日目美ヶ原へ



お花畑～

てな訳で翌朝の目覚めも早い。まだみんな寝ている間にこっそり玄関を出る。下見で行ってなかった今日の車山の肩までのコースを登ってみる。急登で足場も良くないとのことであったが、心配したほどでもない。薄霧がかかっているものの、陽が昇れば今日も天気は良さそうだ。肩まで登ると昨日行った八島湿原がハート型に見える。肩の駐車場を確認すると既にけっこうな数の車が駐車している。後で一杯になっていないかちょっと気になる。宿に戻って朝食の後、今日は直接肩まで登る組と車で肩の駐車場まで移動する組と分かれて出発。心配した駐車スペースは増えていたものの停めることが出来た。車椅子の準備をして肩まで上がっていくと丁度登山組が上がってきて全員合流。すっかり霧もとれて青空の広がった下、車山頂上に向けてスタート。道はなだらかで広くて歩きやすい。但し、車椅子を利用できるのは最初だけで大半は利用できない。また、車椅子2台のうち1台は

電動なので背負えない。岩の出ているところは持ち上げて運ばざるを負えず難儀しながらなんとか頂上に到着。頂上は結構な人で賑わっている。ひょっとしてリフトが復旧したのかと思いついて登ってきた人に聞いてみるとやはり停まっているらしい。頂上で昼食を取ってから、全員で記念撮影。下山は動いている上のリフトを利用して降りる。乗ってみると結構な距離なので1本でも動いているのは助かる。リフトを降りてからはまた未舗装の山道だが、肩からの道よりは岩も少ないので車椅子も乗ったまま押していける距離が長い。強すぎる日差し中の下山。時々小さな木陰で休憩しつつ、最後の階段を降りるとみやげ物屋がある車山高原に到着。当初予定よりは1時間少し早く着くことが出来たので、1泊組も早目のバスで下山。その他のメンバーは経費節約のため車で移動。取敢えず車を取りにバスで肩まで移動。先に1日目八島湿原に行っていないWさ

んと付添の人たちを湿原の駐車場に運んでから、高原で休んでいた残りの人を宿へと運んで2日目の行動も無事終了。車中の話題は、昨夜の宿のことばかりだったが、1日目と違っておかみさんも機嫌が良いようで、風呂に入って夕食に飲んだビールも冷たくておいしい。とは言ってもほどほどにして、夕食後は明日の確認をして2階の部屋へ。これでおとなしく寝ようなしろうまの会ではない(笑)。車山高原のお土産屋で買ったワインとウィスキーで抑え気味の懇談会。酒もなくなり、いい塩梅で酔いもまわって就寝。

翌朝は貸切バスに乗って美ヶ原へ。天気は、雲はあるものの晴れだが、さすがに標高2千メートル近くで風もあり寒い。ウィドブレーカーなど着こんでスタート。まずは牛やポニーが戯れる牧場の中の幅広道を美ヶ原のシンボルである美しい塔を目指して歩く。それぞれ塔の裏手にまわって鐘を鳴らすも、要領が得ずみ

んな手こずる。正しい鳴らし方は、紐を横に振るのではなく、縦に引くのです。記念撮影後は、アルプス展望コースへ。コースは美ヶ原の台地の縁を辿る。アップダウンは少ないが、ここからは車椅子は使えない。ところどころで写真を撮りながら王ヶ頭ホテルの直下へ。そこからぐるっと回って今回の標高最高地点の王ヶ頭で集合写真。ここからは、牧場の中の平坦な道を駐車場までもどる。途中塩くれ場というところでは、ちょうど牛に塩をくれてあげるところで牛たちを身近に見ることができた。

全員、駐車場の横にあるみやげもの屋でめいめい食事をしてからバスに乗り、上諏訪駅へ。上諏訪からは電車で夕暮れ時の新宿について解散。

今回は色々なことがあり、後で『伝説の山行』と言われるような山行でしたが、終わってみれば楽しい山行でした。3日目に宿を出るときに女将さんが「何



八島湿原の花々

もなく良かったわ」というようなことを言っていました。

これに対する私の解釈は「どんな人達に来るのか心配だったけど取り越し苦労だったわ」そういう意味だと捉えました。丁度ご主人は予約の電話がかかって来て、早く電話を切りたいそうでしたが終わらず、何か言いたそうな顔のまま挨拶して別れてきましたが、なんとなく言いたいことは分かったような気がします。

ヒュッテは山奥にあるわけではないけどテレビもなく通年営業。障がい者が泊まりに来ることもなくきっと想像するしかなかったのかな？と思います。それが最終日の対応だったような気がします。でも、

次に来る人達のために少しは理解してもらえたのでは。と思います。

みなさんお疲れ様でした。（高橋正人）

■■ 例の宿の件

最終日の朝、会の皆さんがバスに乗り込んだあと、私は自家用車で参加だったためMさんと一緒に最後に宿を出ました。2泊お世話になったあと、なだけにチェックアウトするとき、お二人は様々な疑問や感想を投げかけてきました。「よくもまあ茨城から」「その車はどこか改造しているのですか?」「どうやって運転しているのですか?」



鐘の前で一枚



風が強く冷たい!



花をじっくりと眺めながら散策できた山行でした

会話が途切れず、なかなか出て行くタイミングがつかめない・・・。

私一人で泊っていたら、多分ずるずる長話をしてしまったらと思う。最後はご夫婦そろって庭先に出て見送って下さいました。

チェックインした時とチェックアウトした時のご夫妻の雰囲気が変わったような気がして、私などは当初だいぶ気構えましたが、別れ際は笑って、世間話をして、お礼を伝えて、お別れしました。結果オーライというか、旅の終わりに風穴があいたようで、印象深い山行でした。

今回自家用車使用というわがままを通して下さった幹事正人さんには感謝してお

ります。1日目に行けなかった八島湿原に、2日目再度付き合ってくださいたり、何往復も車の運転をしてくださったり、高原の花についてレクチャーしてくださいたり、花の写真をたくさん撮ってアップロードしてくださいたり・・・、一人で行ってもなかなかこうはいきません。とても楽しかったです。行けてよかったなあと、今も美しい風景を思い出しています。（若杉）



→美しい風景が食卓、
ってわけじゃないです。
が、山ごはん



気持ち良い道



いつもの・・・記念撮影!

i n f o r m a t i o n

★ ML と重複しますが最近の連絡事項の主だったところをまとめておきます ★

■ 10月山行

【日程】10月15日(日)

【行先】北鎌倉(ハイキング) グレードA(車椅子での回避道あり)

【コース】北鎌倉駅スタート浄智寺→葛原岡神社・源氏山(昼食)→銭洗弁財天→
鎌倉大仏→江の電長谷駅→鎌倉駅

【集合等】JR 駅2 番線ホーム(新宿寄り前方) 8時30分、

8:38 池袋駅(JR 湘南新宿ライン・逗子行) 乗車

■ミュージアム・オブ・トゥギャザー展

※小笠原さんが手話でアートコミュニケーターとして参加する展覧会です。入場料無料。

【期間】10月13日(金)～10月31日(火) 11:00～20:00

【会場】スパイラルガーデン(スパイラル1F)

東京メトロ・表参道駅下車 B1、B3 出口すぐ。

アウトサイダーアートや若手のコンテンポラリーアートの作品を区別なく、同じ会場に展示してアートとはどういうものかを考えてみる展覧会です。それだけでなく、いかなる身障者でも鑑賞できるように会場の設定にもかなり配慮されたそうです。また学生ボランティアが常時スタンバイしていて、ケースに応じて介助することになっています。

*小笠原さんがアートコミュニケーターをされるワークショップは予約が必要です。

10月14日(土) 14:00-16:00

10月27日(金) 18:00-20:00

→詳細は右 URL の HP を参照下さい。 <https://www.diversity-in-the-arts.jp/moto>

■ 寒くなったり暑かったりのお天気で体調が崩れがちですが、お体に気をつけて紅葉シーズンをお過ごしください。次回の山でお会いしましょう。

しろうまニュース vol.23

2017年10月9日発行

障害がある人もない人も一緒に登山を楽しむ会 しろうまの会

ご連絡・お問い合わせ(お気軽にお問い合わせください): shirouma@sd5.so-net.ne.jp

ホームページ: <http://www.shirouma.net>

facebook: <https://ja-jp.facebook.com/shirouma4620>